

与板地域委員会第1分科会の経過報告

平成30年10月24日

第1分科会では「観光・地域おこし、産業、まちづくり」を協議テーマとして、それぞれ協議を重ねてきました。その協議経過と協議の進捗状況について報告します。

<協議経過>

各委員が提案した項目を基に議論を行い、「与板に人を呼びたい」という共通意識を持ち、地域資源を取り上げながら地域の活性化を促すための現状と課題について議論してきた結果、今の与板に必要なものとして、地域内外への情報発信・交流人口の拡大・地域活動の広がり、文化遺産の保存・保護及び活用、若者による新たな視点での取組みと情報共有の場などについて協議を進めてきた。

この協議を通して、与板の特性を生かした豊かな歴史・文化遺産の有効活用、交流人口の拡大と地域への誇りや愛着を醸成するという観点から、以下の2つについて協議中である。

<協議の進捗状況>

①タウン情報誌の作成

与板地域には様々な史跡や神社仏閣、そして、魅力的な店舗があり、十五夜まつりや様々なイベントは人をひきつける。また、地域で様々な取り組みをして活躍している人も多い。そこで、与板地域の若者が主体となり、取材、編集した与板の魅力を伝えるタウン情報誌（小冊子）を制作し、多くの人に与板をPRしていく必要がある。

市内大学等と連携して多様な視点で与板の魅力を掘り起こす編集会議を行い、この会議をベースに若者が与板の魅力について情報共有できる話合いの場を整え、さらに、若者が夢や起業について語る若者会議へと発展させたい。

②名所や史跡、文化遺産の保護、活用と説明看板の設置

与板地域には市指定文化財以外にも与板歴史民俗資料館や地域の神社等に所蔵されている資料、長岡市名誉市民である三輪晁勢画伯、大矢紀画伯の生家など名所・旧跡を示すものを残してほしいという声がある。それらが失われないように、保存・保護及び活用について検討を進めていきたい。

また、行政や各種団体が設置した観光看板に解説をつけることにより、来訪者がより理解できるものとして、さらに磨きをかけていきたい。